

☆☆☆ 生育概況（6月22日調査）と今後の対応☆☆☆

葉齢から見た生育は、平年と比べコシヒカリで2日、とちぎの星で3日程度進んでいます。日平均気温を用いて出穂期を予測すると、県央のコシヒカリ（5月4日移植を基準）は、7月21～26日に出穂になると予測されます。

イネカメムシ等の適期防除の準備をお願いします。

茎数、葉色はほ場によってバラツキが出ています。茎数が多く、葉色が濃いほ場は中干しを行い、茎数の整理を行いましょう。

<早植コシヒカリ> 8地点平均

草丈：平年と比較して短い（平年比（以下同）95%）

茎数：平年並（101%）

葉齢：平年より0.3（2日程度）進んでいる

葉色（葉緑素計）：平年並

<早植とちぎの星> 4地点平均

草丈：平年と比較して短い（92%）

茎数：平年と比較して多い（107%）

葉齢：平年より0.4（3日程度）進んでいる

葉色（葉緑素計）：平年並

○ 気象概況

6月上旬は、3日に台風第6号の影響により県内各地で大雨になりました。そのほかの日は曇りや雨の日が多くなりました。気象庁によると関東甲信地方は6月7日ごろ（速報値）に梅雨入りしたと見られています（平年6月7日ごろ、昨年5月22日ごろ）。宇都宮の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多くなりました

6月中旬は、晴れた日が多くなりましたが、旬のはじめと終わりは曇りや雨の日もありました。11日は南部で雷を伴い非常に激しい雨が降り、大雨となった所がありました。20日は広い範囲で大雨となりました。宇都宮の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となりました。

○ 生育調査結果

【早植コシヒカリ】 県内8カ所

5月中は平年に比べ高温で経過したことから生育が旺盛でしたが、6月に入り第2、第3半旬の気温が平年並～低くなったことから、草丈の伸長、茎数の増加が抑制され、平年に比べ草丈は短く、茎数は平年並となりました。葉齢から見た生育は平年に比べ2日程度進んでいます。葉色（葉緑素計）は平年並となっています。

宇都宮地方气象台のデータを使用し出穂予測をした結果、6月23日現在、県央では7月21日（今後平年+2℃で推移）～26日（今後平年-2℃で推移）に出穂すると考えられます（図4）。

草丈は、塩谷町、芳賀町でやや長く（平年比（以下同）103%）、その他の地点では短く（74～98%）、県内平均はやや短くなりました（95%）。茎数は、那須塩原市、塩谷町、鹿沼市で多く（113～126%）、その他の地点は少なく（88～95%）、県内平均は平年並となりました（101%）。葉齢は、那須町、那須塩原市で遅れていますが、その他の地点では進んでおり県内平均では0.3進んでいます。葉色（SPAD）は那須町、那須塩原市、宇都宮市、農研センターで淡くなりましたが、その他の地点では平年並～濃く、県平均では平年並となりました。葉色板による葉色は、平年並です。

【早植とちぎの星】 県内4カ所

とちぎの星も気温の影響により、草丈の伸長が抑制され平年に比べ短くなりました。茎数の増加も抑制されましたが、前回調査日までにかなり分けつが進んだことから依然として平年より多い状況です（6月8日調査時点で平年比119%、今回107%）。葉齢から見た生育は平年に比べ3日程度進んでいます。葉色（SPAD）、葉色板による葉色は平年並です。

草丈は、全地点で短く（88～97%）となりました。茎数は、農業総合研究センターで少なく（85%）、その他の地点では多く（105～127%）、県内平均は多くなりました（107%）。葉齢は、真岡市でやや遅れていますが、その他の地点は進んでおり、県内平均では0.4進んでいます。葉色（SPAD）は、真岡市で淡く、その他の地点では濃く、県内平均で平年並となりました。葉色板は宇都宮市、農研センターで淡く、さくら市、真岡市で濃く、県内平均で平年並となりました。

【普通植とちぎの星】 県内2カ所（今回は栃木市1カ所分）

草丈は、平年よりやや長く（103%）、茎数は多くなりました（110%）。葉齢から見た生育は1日程度進んでいます。葉色（SPAD）、葉色板による葉色とも濃くなっています。

【生育診断値】

現在、水稻の生育ステージは最高分けつ期になっています。図1にコシヒカリの最高分けつ期における生育診断値（葉色×茎数）の適正範囲と各地の生育診断値を示しました。日光市は適正範囲内です。那須塩原市、塩谷町、那須烏山市、鹿沼市、小山市は適正範囲を上回っており、那須町、芳賀町、宇都宮市、農研センターは下回っており、地域によって大きくバラツキしています。上回っている地点は茎数が過剰な傾向、下回っている地点は茎数が不足している傾向です。

図2にとちぎの星の最高分けつ期における生育診断値の適正範囲と各地の生育診断値をプロットしました。真岡市は適正範囲内です。その他の地点は、適正範囲を下回っていますが、農研センター以外は前年同時期を上回っています。

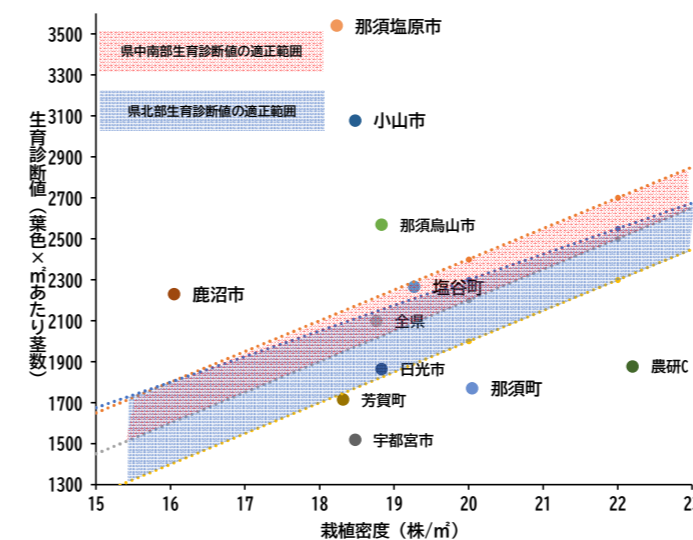


図1 最高分けつ期生育診断値（コシヒカリ）

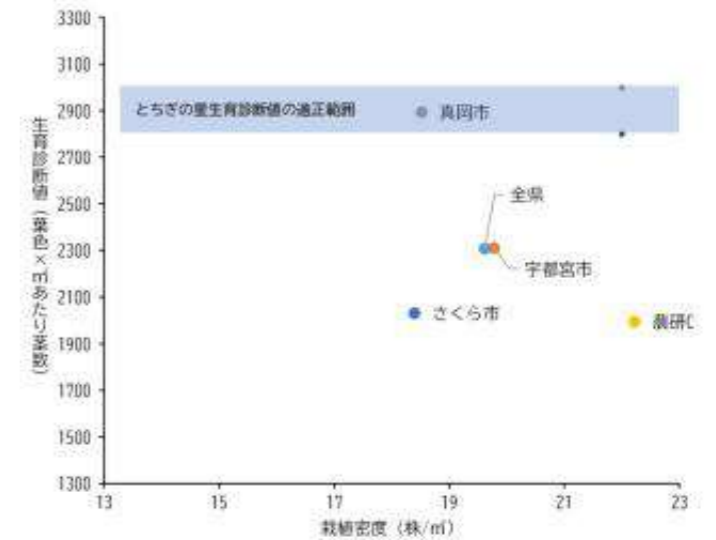


図2 最高分けつ期生育診断値（とちぎの星）

○農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は前年と同様に平年より高温に推移しています。6月第2、第3半旬は気温が下がったことから、地温も前年より低くなりました。期間の平均地温は、ほぼ前年並みとなっていますが平年より2.4℃高く、前年同様に緩効性肥料の溶出が早まっている可能性があります。

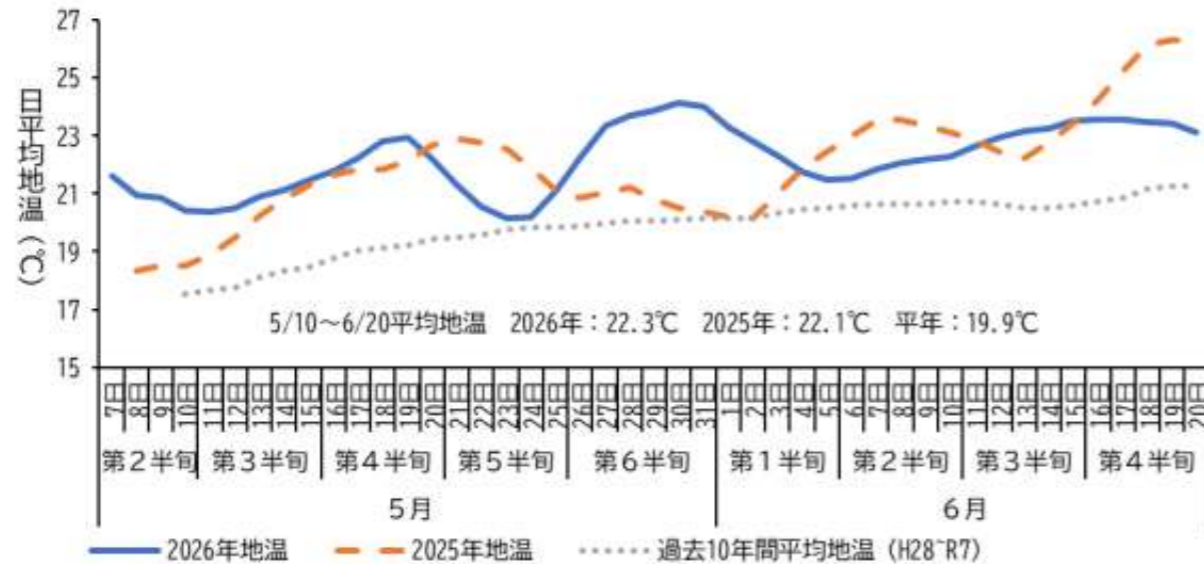


図3 農業総合研究センター水田の地温推移

○水稻の出穂予測について（6月24日時点）

前年の生育診断ほの平均出穂日は7月23日で、令和5～6年産同様、生育診断調査開始以来、最も早い出穂となりました。現在の葉齢は前年より進んでいることから、今年の出穂も早まることが予想されます。

表1に農研センターにおける、品種ごとの幼穂分化期を示しました。コシヒカリは前年より1日遅い6月23日に幼穂分化を確認しました。幼穂分化から推定すると出穂は記録的に早かった前年並みになると考えられます。

表1 水稻品種の幼穂分化期（6月24日現在、農研C・宇都宮市）

	初星	なすひかり	コシヒカリ	とちぎの星
本年	6月21日	6月23日	6月23日	
平年	6月20日	6月23日	6月28日	6月29日
昨年	6月15日	6月23日	6月22日	6月26日
移植日	5月7日	5月7日	5月7日	5月7日

※なすひかりの平年値はH16～R2の17カ年平均

※コシヒカリの平年値はH1～R6の35カ年平均

※とちぎの星の平年値はH24, 26～R6の10カ年平均

◎表1について

※幼穂分化期については、幼穂分化期から数日（3日以上）経過しないと確定できないため、未確認の品種の幼穂分化期が調査日以前の可能性もある。

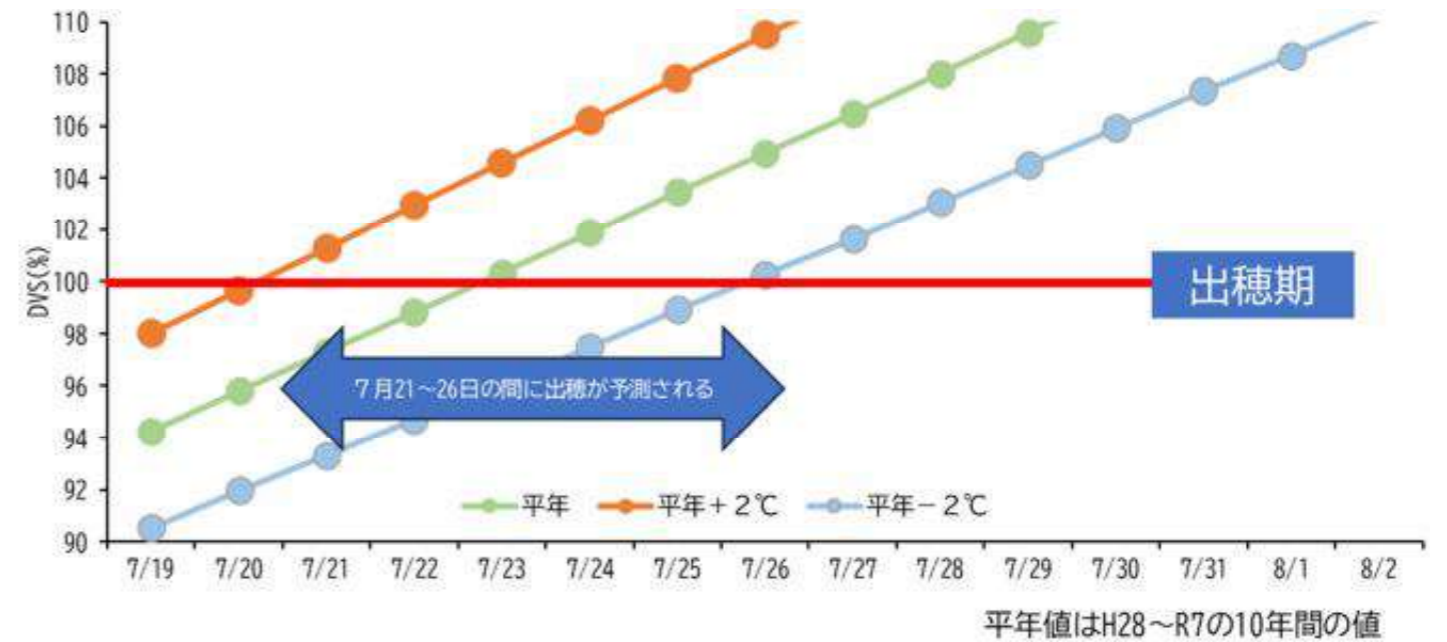


図4 ノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測（6月23日時点）

図4にノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測を示しました。宇都宮市で5月4日に移植されたコシヒカリについて6月23日までの気温により出穂を予測しました。なお、6月24日以降は平年値を用いて計算しています。6月23日以降が平年並の気温で経過すると、

7月23日に出穂すると予測されました。

今後、**気温が高く（平年+2℃）経過**すると**7月21日**、低く（平年-2℃）経過すると7月26日に出穂すると予測されました。

6月18日気象庁発表の1か月予報によると6月27日以降は気温が平年並～高く経過する予報であることから、出穂は昨年同様に早まる可能性があります。

気象庁 関東甲信地方1か月予報（6月18日発表）

関東甲信地方 1か月予報 (06/20~07/19)		2026年06月18日14時30分 気象庁 発表			
特に注意を要する事項		期間のはじめは、気温がかなり低くなる見込みです。			
向こう1か月 06/20~07/19	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	気温	平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。			
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。			
1週目 06/20~06/26	気温	1週目は、低い確率80%です。			
2週目 06/27~07/03	気温	2週目は、平年並の確率50%です。			
3~4週目 07/04~07/17	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。			
気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)					
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	40	40	20
		1週目 06/20~06/26	80	10	10
		2週目 06/27~07/03	30	50	20
		3~4週目 07/04~07/17	20	40	40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	40	30	30
■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)					

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

すでに必要茎数（コシヒカリで 360 本～380 本/㎡）が確保されているほ場では間断かん水を継続し、分けつが過剰にならないように留意しましょう。穂数やもみ数が過剰となると、登熟が劣り、白未熟粒の発生により品質低下を招きます。また茎が細くなり倒伏の助長にもつながります。今後の気温の上昇に伴い、肥料成分の発現量が増加する可能性があることから、**葉色が濃く、茎数が多いほ場では、茎数が過剰にならないよう中干しを実施**して、茎数の整理を行ってください。

5月中下旬の田植など、まだ茎数が確保されていないほ場では、引き続き、夜間かん水、日中止水（浅水）とし、分けつ発生を促進しましょう。

(2) 病害虫の防除

ア いもち病（葉いもち）

いもち病は気温 25～28℃で湿度の高い条件で感染拡大が進みます。

作物体の濡れている状態が持続することで、いもち病の病原菌（カビ）の萌芽や伝播が行われて被害が拡大します。強い降雨では菌が流れてしまうのに対し、継続的な弱い降雨は感染拡大につながります。

BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果では6月14日と20日に感染好適条件が出現するなど、梅雨時期は感染好適条件になりやすいため、ほ場をよく見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

表2 BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果（令和8年度）

	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月2日	準感染好適条件1：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満								
6月3日	準感染好適条件2：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上								
6月4日	準感染好適条件3：湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15～25℃の範囲外								
6月5日	準感染好適条件4：湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い								
6月6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月8日	4	1	1	1	1	1	1	1	1
6月9日	4	1	—	—	—	—	—	—	—
6月10日	—	4	—	—	—	—	—	—	—
6月11日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月12日	1	1	—	—	—	—	—	—	—
6月13日	—	—	4	—	4	—	—	—	—
6月14日	—	—	—	—	—	—	—	●	—
6月15日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月16日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月20日	●	●	●	—	●	4	—	●	—
6月21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月23日	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 稲こうじ病

昨年多発したほ場は、防除適期（出穂 20～10 日前）に効果的な薬剤を散布しましょう。なお、適期を逃すと効果が低下するので注意しましょう。



ウ イネカメムシ対策

一昨年に県南地域を中心に大きな被害をもたらし、昨年は被害地域が拡大しています。イネカメムシは、出穂期に穂を吸汁することで不稔が発生し減収につながります。また、乳熟期の吸汁は斑点米の発生につながります。

出穂期防除が必須であり、通常の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります。適期防除に努めましょう。



写真 出穂した穂

注意
葉鞘からわずかでも穂が出ていれば出穂です。
ほ場全体の4～5割出穂していれば**出穂期**となります。



写真 イネカメムシ（左：成虫、右：幼虫）

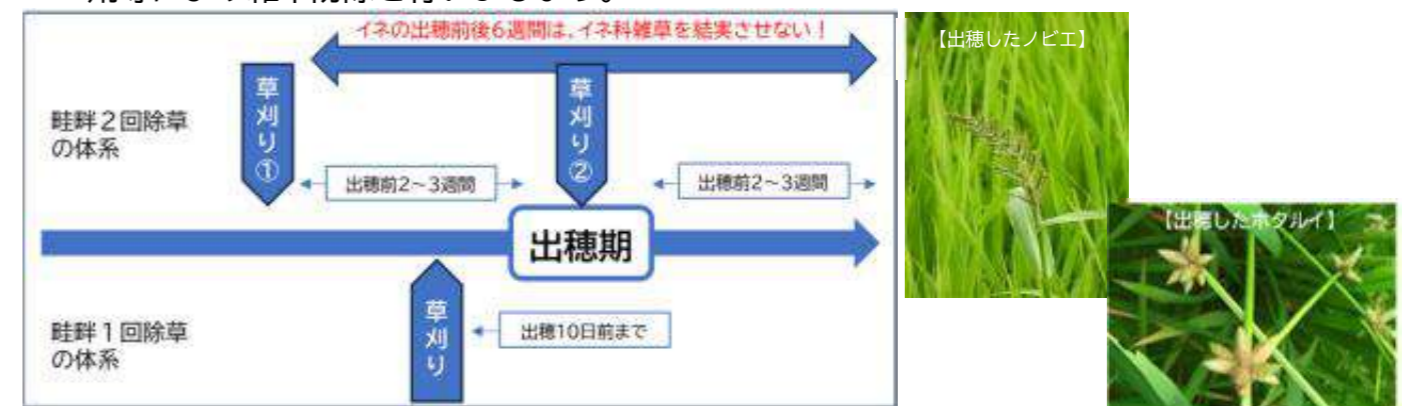


図5 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

エ 斑点米カメムシ

斑点米カメムシ類については、乳熟期の薬剤防除の徹底に加え、誘因源となるイネ科雑草を出穂させない雑草管理が大切になります。

また、水田内に発生しているノビエやホタルイなどもカメムシを誘因しますので、茎葉処理剤等により雑草防除を行いましょう。



【参考データ】

【コシヒカリ：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢(葉)			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)
1	那須町寺子丙	34.5	46.6	74%	19.8	22.7	87%	397	417	95%	8.6	9.3	-0.7	34.9	38.4	-3.5	4.5	4.3	0.1	1,770	1812	98%
2	那須塩原市一区町	55.2	57.8	95%	40.4	32.7	123%	736	583	126%	10.4	10.7	-0.3	34.1	37.4	-3.3	4.8	4.4	0.4	3,540	2564	138%
3	塩谷町玉生	51.7	50.2	103%	27.1	25.1	108%	522	447	117%	10.3	9.4	0.9	40.2	40.0	0.2	4.3	4.2	0.2	2,266	1865	122%
4	那須烏山市南大和久	50.4	65.6	77%	31.7	29.3	108%	597	538	111%	10.0	10.2	-0.2	38.4	35.2	3.1	4.3	3.9	0.4	2,569	2099	122%
5	日光市木和田島	51.8	55.7	93%	25.8	28.8	90%	486	555	88%	10.6	9.7	0.9	38.2	38.1	0.1	3.8	3.4	0.5	1,865	1884	99%
6	鹿沼市久野	54.4	55.2	99%	31.2	27.6	113%	501	443	113%	10.9	10.0	0.9	41.3	39.8	1.5	4.5	4.1	0.4	2,230	1810	123%
7	宇都宮市川田町	51.5	57.0	90%	24.2	27.4	88%	447	487	92%	10.5	10.3	0.2	37.2	37.8	-0.6	3.4	3.9	-0.5	1,520	1906	80%
8	芳賀町東水沼	55.0	53.3	103%	22.3	24.4	91%	408	463	88%	10.9	10.4	0.5	42.2	40.4	1.8	4.2	4.2	0.0	1,715	1953	88%
9	小山市生井	60.0			42.7			789			11.0			42.0			3.9			3,077		
10	農業総合研究センター	54.2	55.6	98%	25.6	27.9	92%	569	621	92%	10.4	9.9	0.5	38.3	37.0	1.3	3.3	3.4	-0.1	1,877	2097	90%
平均	全量基肥平均	51.0	53.9	95%	27.1	27.1	100%	508	502	101%	10.3	10.0	0.3	38.3	38.6	-0.3	4.1	4.0	0.1	2,098	1,986	106%
分施	農業総合研究センター	54.5	57.4	95%	30.6	29.6	103%	679	657	103%	10.2	9.9	0.3	36.1	37.1	-1.0	3.0	3.3	-0.3	2,038	2192	93%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

那須烏山市は令和7年には場が変更になったため前年値との比較。また、移植日が大幅に遅れたため平均から除する。

小山市は令和8年には場が変更になったため過去値との比較は行わない。また、全体平均からも除する。

【早植とちぎの星本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)
11	さくら市狭間田	46.3	49.7	93%	25.9	26.6	97%	476	451	105%	10.0	9.4	0.6	42.0	41.8	0.2	4.3	4.2	0.1	2,031	1,876	108%
12	宇都宮市下桑島町	51.4	56.1	92%	28.5	26.2	109%	564	487	116%	11.1	10.2	0.9	46.0	44.1	1.9	4.1	4.3	-0.2	2,311	2,087	111%
13	真岡市清水	45.6	52.0	88%	37.2	26.6	140%	689	542	127%	9.4	9.7	-0.2	40.7	43.0	-2.3	4.2	4.0	0.2	2,893	2,149	135%
14	農業総合研究センター	50.8	52.2	97%	26.4	30.9	85%	587	687	85%	10.0	9.5	0.5	41.7	41.0	0.7	3.4	3.7	-0.3	1,995	2,568	78%
平均	早植平均	48.5	52.5	92%	29.5	27.6	107%	579	542	107%	10.1	9.7	0.4	42.6	42.5	0.1	4.0	4.0	0.0	2,307	2,170	106%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

宇都宮市は令和5年には場が変更になったため3カ年平均。

【普通植とちぎの星本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)
15	栃木市皆川	35.4	34.4	103%	18.5	18.0	103%	340	309	110%	7.9	7.7	0.2	45.2	41.1	1.1	4.3	4.1	0.2	1,466	1270	115%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

6月22日調査

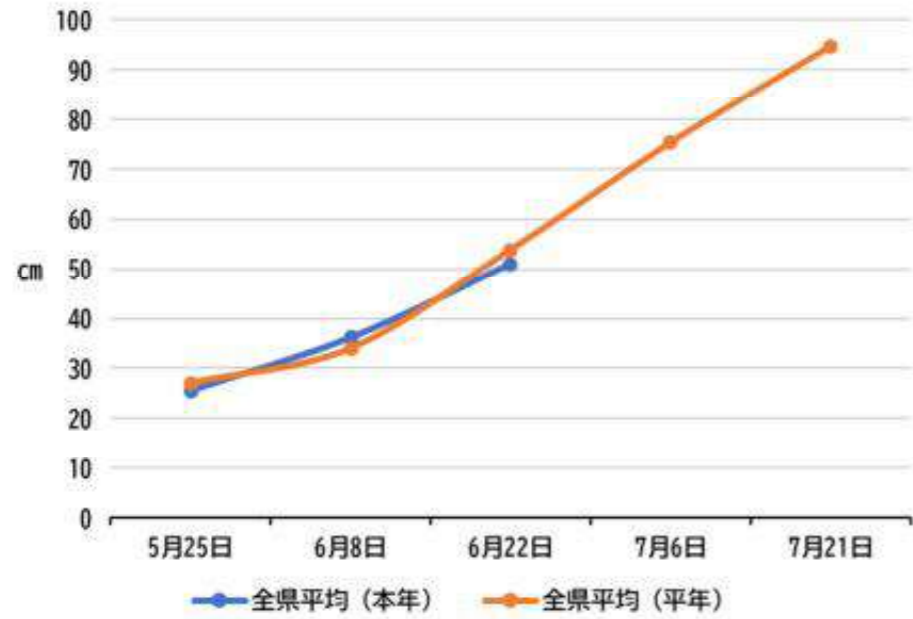
表 R8移植後46日(6月22日)の生育調査

処理	葉面積(m ² /m ²)			乾物重(g/m ²)		
	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)
コシヒカリ・0.0	1.24	1.71	72	136	151	90
コシヒカリ・0.3	2.29	2.55	90	257	267	96
コシヒカリ・0.5(全基)	1.89	2.24	84	208	226	92
とちぎの星・0.6(全基)	2.17	2.60	84	218	241	91
とちぎの星・0.5	2.69	3.31	81	270	277	97

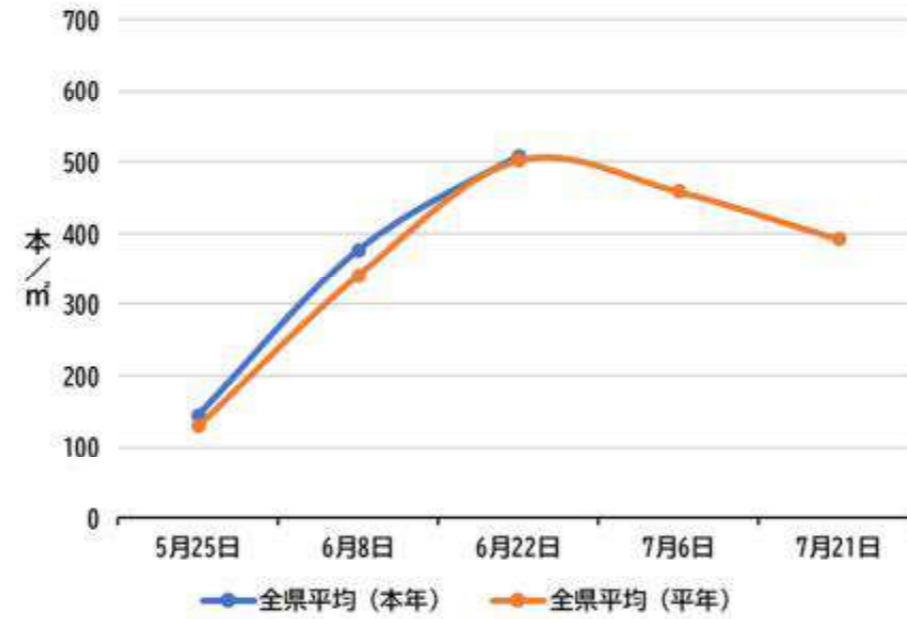
平年値について令和3～7年の5カ年平均。

2026 生育診断ほ「コシヒカリ」生育経過（6月22日）

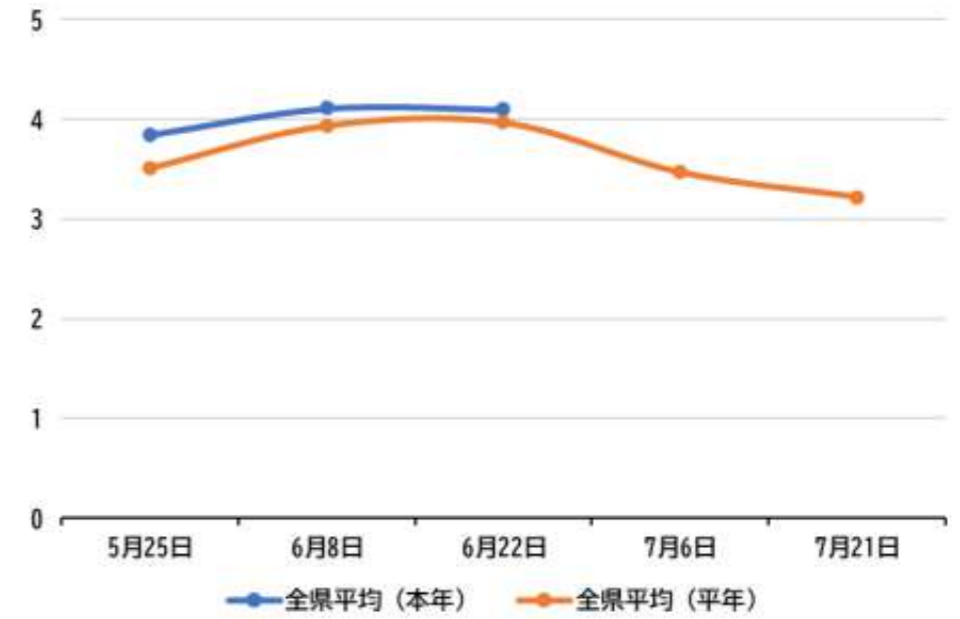
草丈の推移



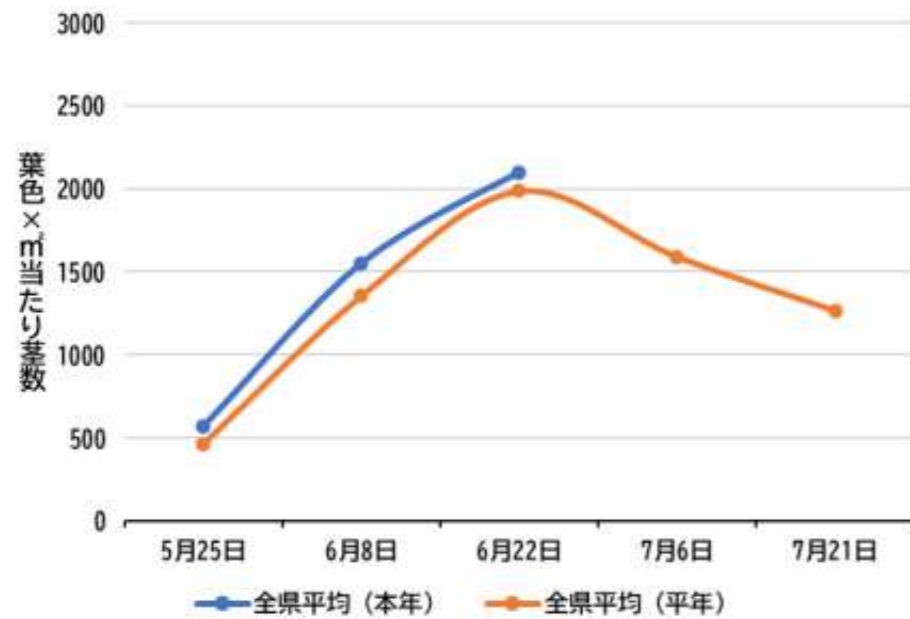
茎数の推移



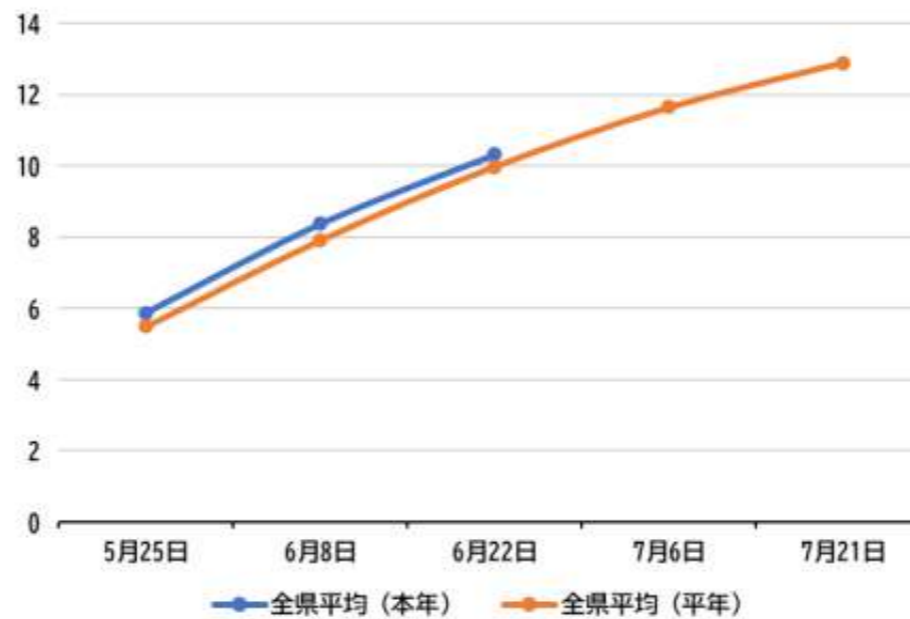
葉色の推移



生育診断値の推移

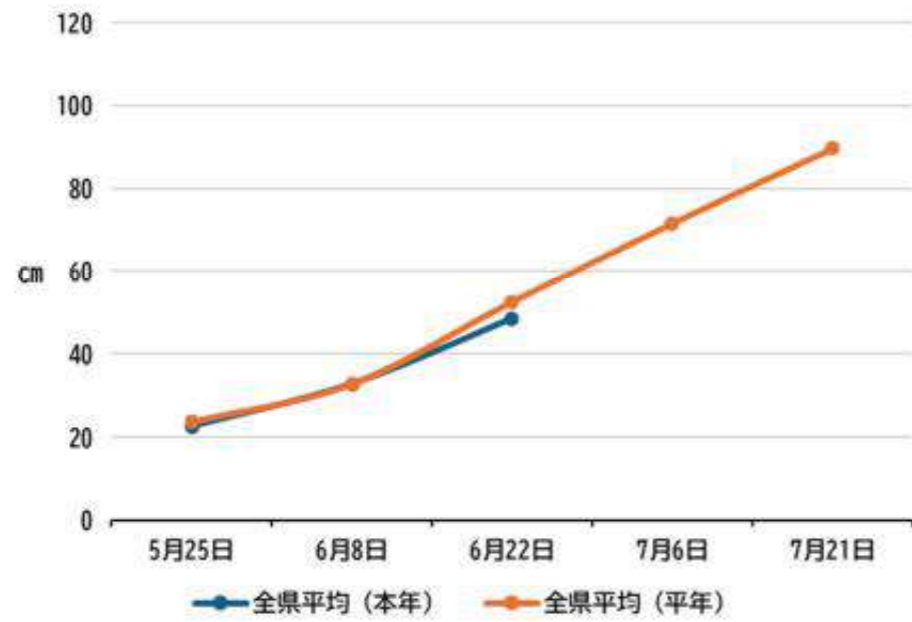


葉齢の推移

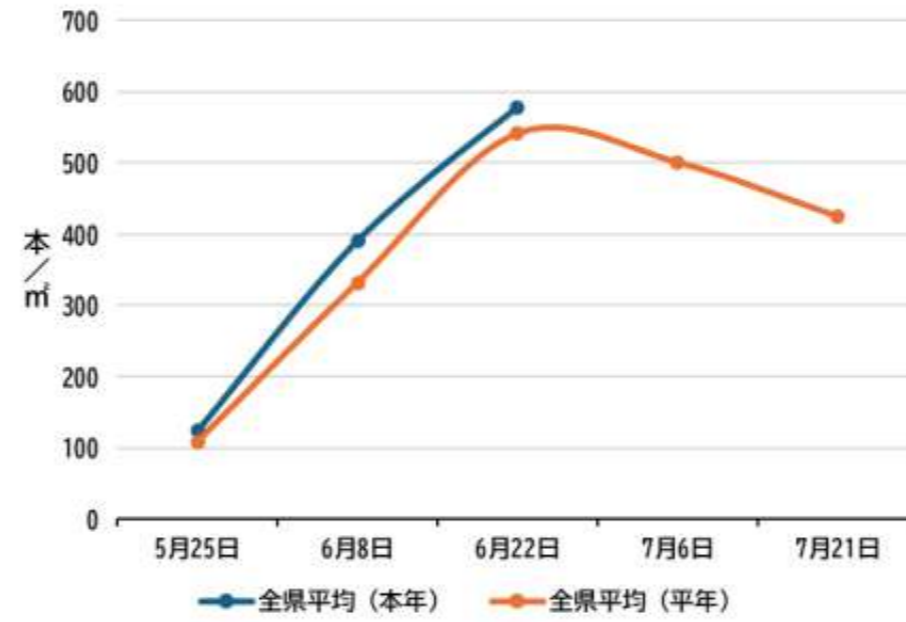


2026 生育診断ほ「とちぎの星」生育経過（6月22日）

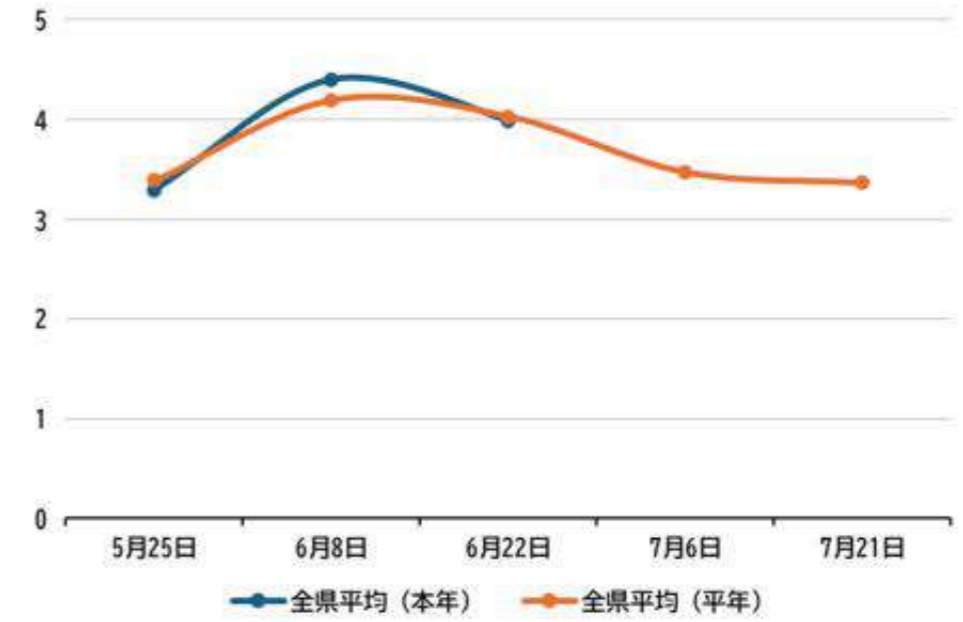
草丈の推移



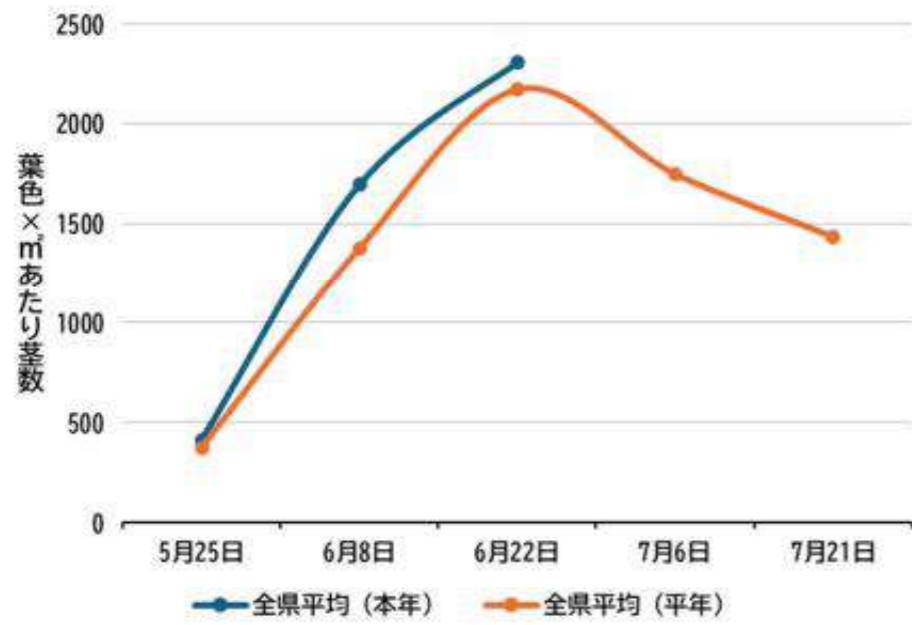
茎数の推移



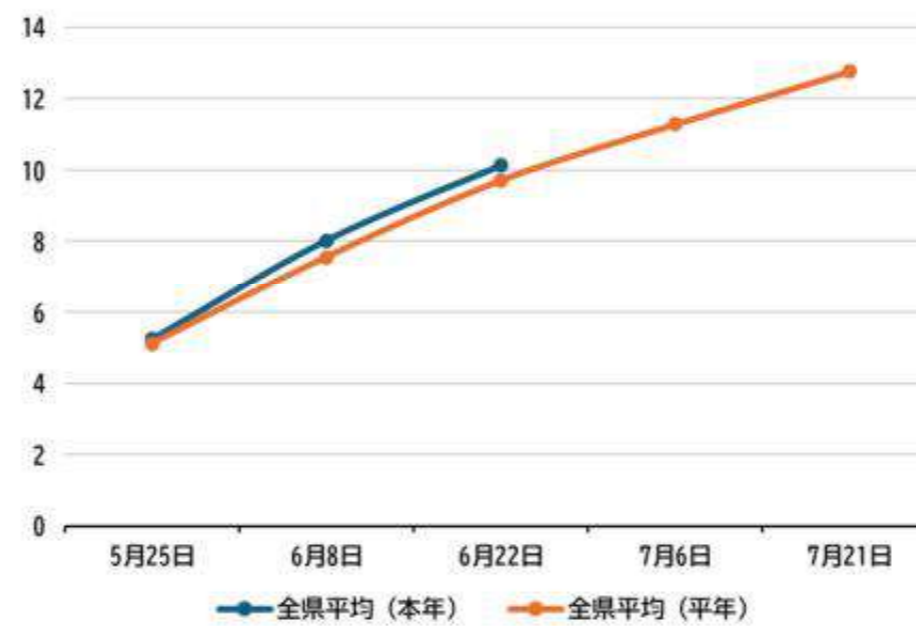
葉色の推移



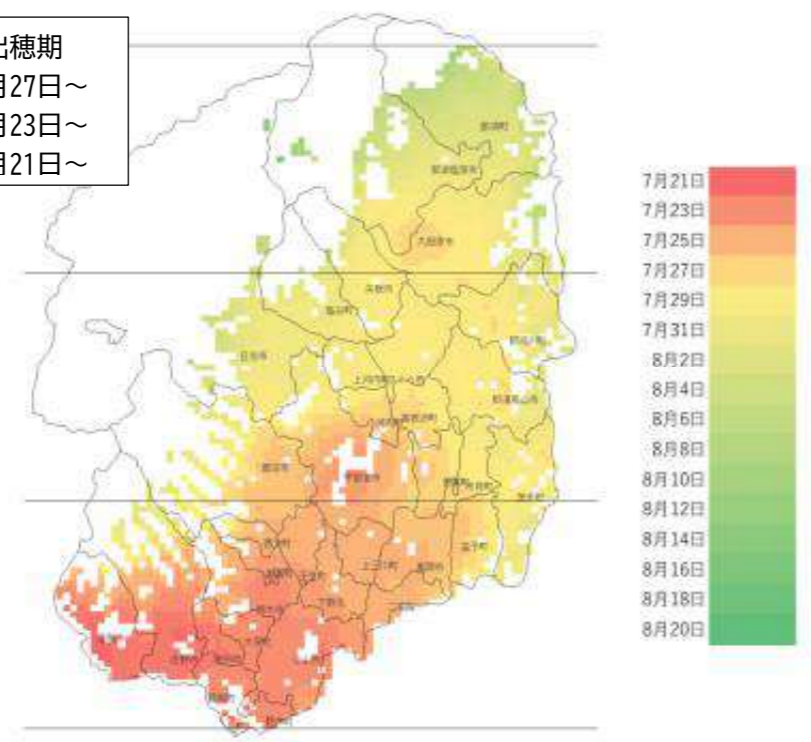
生育診断値の推移



葉齢の推移



おおよその出穂期
 県北部 7月27日～
 県中部 7月23日～
 県南部 7月21日～

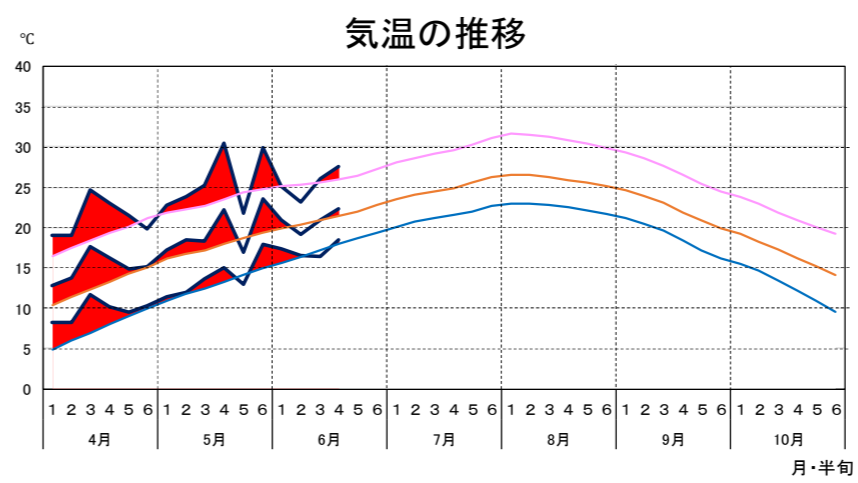


2026年 気象経過グラフ

AMeDAS地点 宇都宮アメダス

農政部経営技術課
 自：令和8年4月1日
 至：令和8年6月24日

【暖候期グラフ】



		本年	平年	平年比/差
4月 上旬	平均気温(°C)	13.3	10.9	2.4°C
	降水量(mm)	91	41.3	220.3%
	日照時間(h)	45.9	64	71.7%
4月 中旬	平均気温(°C)	16.9	12.8	4.1°C
	降水量(mm)	15.5	38.1	40.7%
	日照時間(h)	90.1	58.9	153.0%
4月 下旬	平均気温(°C)	15	14.6	0.4°C
	降水量(mm)	48	42.1	114.0%
	日照時間(h)	49.2	62	79.4%

		本年	平年	平年比/差
5月 上旬	平均気温(°C)	17.8	16.6	1.2°C
	降水量(mm)	76	39	194.9%
	日照時間(h)	66.9	58.8	113.8%
5月 中旬	平均気温(°C)	20.3	17.5	2.8°C
	降水量(mm)	0	45.9	0.0%
	日照時間(h)	101.8	54.5	186.8%
5月 下旬	平均気温(°C)	20.5	19.2	1.3°C
	降水量(mm)	18	64.3	28.0%
	日照時間(h)	57.5	62	92.7%

		本年	平年	平年比/差
6月 上旬	平均気温(°C)	20	20.1	-0.1°C
	降水量(mm)	126	43.6	289.0%
	日照時間(h)	33	52	63.5%
6月 中旬	平均気温(°C)	21.6	21.2	0.4°C
	降水量(mm)	73.5	69.2	106.2%
	日照時間(h)	57.3	37.1	154.4%
6月 下旬	平均気温(°C)	21.4	22.3	-0.9°C
	降水量(mm)	29	62.4	46.5%
	日照時間(h)	12.6	29.3	43.0%

図 メッシュ農業気象データによる県内出穂期予測（農研センター計算）
 5月4日移植コシヒカリを基準としてDVR法で計算（計算基準日6月24日）

<前年との気温の比較と出穂期>

4、5月は前年と比較して高温になる期間が多くなりましたが、6月第2半旬以降は低く経過しています。期間内の平均気温に差はないことから、今後の気温も高く経過すれば、**前年並みに非常に早い出穂期**になる可能性があります。

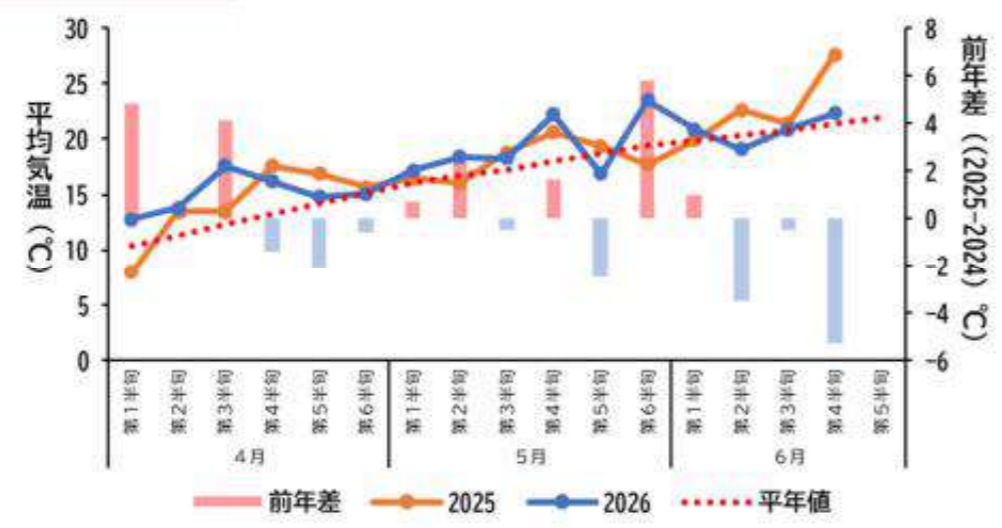
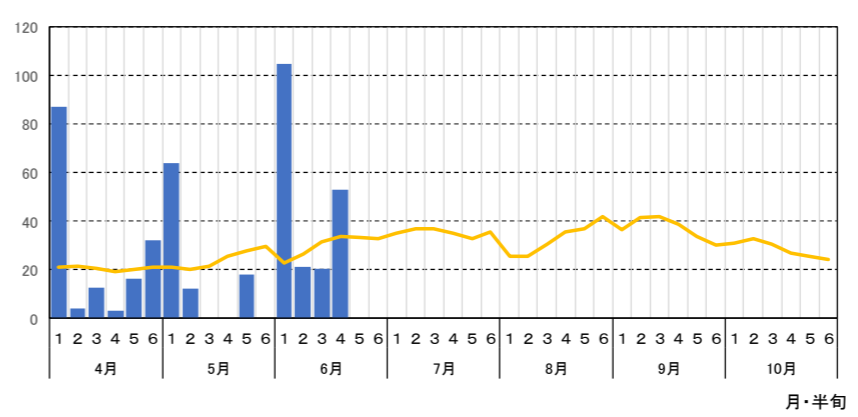


図 2025年と2026年の気温比較

降水量の推移



日照時間の推移

